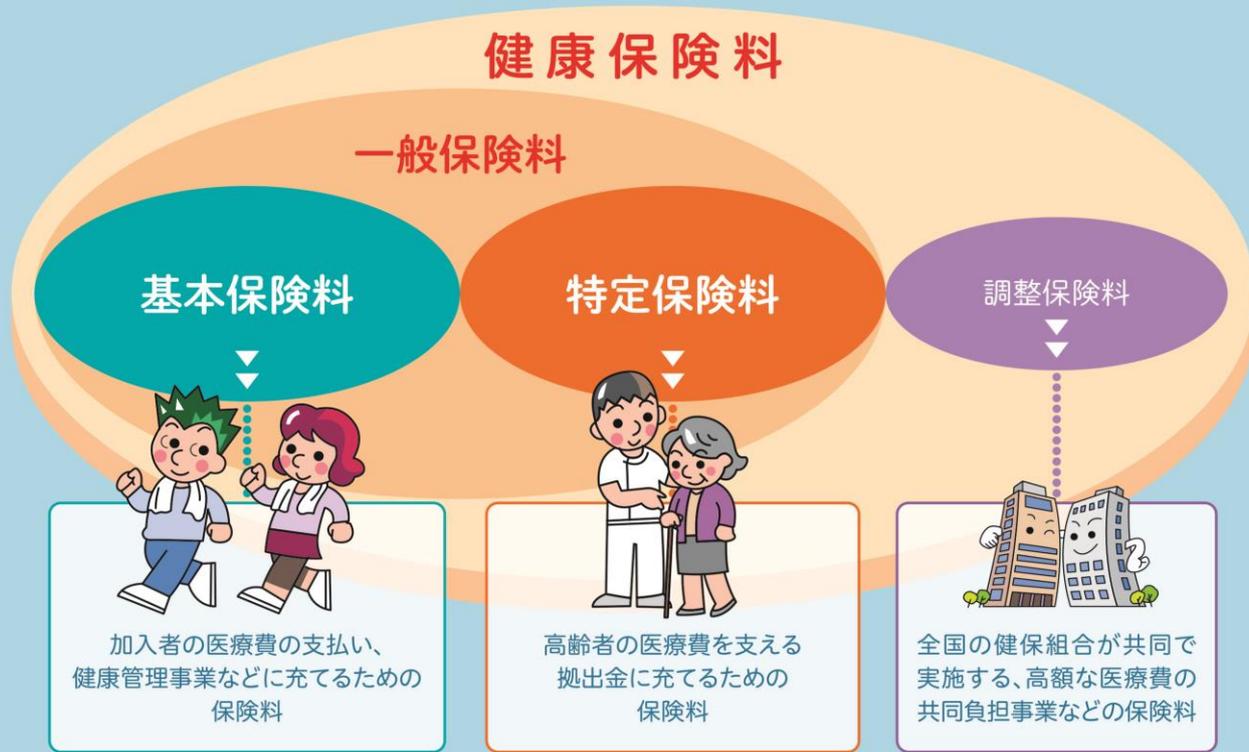




ご存じですか？

健康保険料の使われ方

皆さんの給与から引かれる健康保険料は、主に皆さんやご家族の医療費の支払い、健康づくり・疾病予防を行う健康管理事業のほか、高齢者の医療費を支える「**拠出金**」(前期高齢者納付金、後期高齢者支援金等)として使われています。



健康保険料のうち「**特定保険料**」が高齢者医療を支えるための拠出金に充てられます。拠出金の額は年々増加し、今では保険料収入の約4割となり、皆さんの保険料が増加する大きな要因となっています。

例 大貨健保 保険料率10.614%、うち特定保険料率4.107%の場合、本人・会社あわせ保険料額の例 (調整保険料含む)

標準報酬月額	健康保険料額	うち高齢者医療のための負担分 (特定保険料額)
20万円	21,228円	8,214円
30万円	31,842円	12,321円
41万円	43,517円	16,839円
50万円	53,070円	20,535円

※事業主と被保険者の負担割合は5.557：5.057



保険料の計算方法

$$\text{標準報酬月額} \times \text{保険料率} = \text{毎月納める保険料}$$

給与明細を見て、月々の健康保険料がいくらか確認してみましょう！

※便宜上、基本保険料に調整保険料を含めた形で表示